

徳島県地球温暖化対策推進計画「重点プログラム」の改定案(概要)

1 改定の趣旨

「徳島県地球温暖化対策推進計画」(計画期間:2011年から2020年までの10年間)においては、中期的取組みを効果的かつ着実に推進するため、特に重点的に取り組むべき、テーマ別のプログラムとして「重点プログラム」を設定している。

平成26年度をもって現行の「重点プログラム」が終了することから、これまでの取組実績等を踏まえ、新たな展開を図るため「重点プログラム」を改定する。

2 概要

- (1) 第2次徳島県環境基本計画(平成25年12月策定)に定める「7つの取組の柱」を踏まえ、特に温暖化対策に重要な「スマート社会づくりの推進」「自然エネルギーの導入促進」等を「重点分野」として掲げる。
- (2) 環境分野における新たな動向に迅速かつ的確に対応するため、本県の特徴を活かした先進的な取組みを盛り込み、今後4年間(平成27年度から平成30年度まで)において、県民総ぐるみで推進。

重点プログラムの体系

重点分野① 「スマート社会づくりの推進」	<15取組項目・18目標> <ul style="list-style-type: none"> — エネルギーの効率的利用(スマートコミュニティの実現) — ライフスタイル、ビジネススタイルの転換 — LEDを活用した省エネ推進 — 低炭素型のまちづくり — 地球温暖化への適応
重点分野② 「自然エネルギーの導入促進」	<9取組項目・11目標> <ul style="list-style-type: none"> — 戦略に基づく各種の施策展開 — 自然エネルギーによる地域活性化 — 自然エネルギーを活用した災害に強いまちづくり — 次世代エコカーの普及促進 — 水素をエネルギーとして活用する社会の早期実現
重点分野③ 「豊かな森林づくりの推進」	<5取組項目・8目標> <ul style="list-style-type: none"> — 条例に基づく県民総ぐるみでの森林づくり — 森林吸収源対策の推進 — 木材及び木質バイオマスの利用推進
重点分野④ 「地球にやさしい環境行動の実践」	<4取組項目・6目標> <ul style="list-style-type: none"> — 「環境首都とくしま・未来創造憲章」の普及 — 若い世代への環境学習の実践

3 重点プログラムの内容

重点分野①「スマート社会づくりの推進」(15取組項目・18目標)

(1) エネルギーの効率的利用(スマートコミュニティの推進)

「高効率機器」や「自然エネルギー関連設備」、「エネルギー管理システム」等、新たな機器・設備の導入促進によるエネルギーの「見える化」や「効率的な利用」を推進。

【具体的取組み】

- ・ 省エネモデル地区を構築し、スマートコミュニティを推進
- ・ 中小企業における高効率・省エネ関連機器等の導入支援 など

(2) ライフスタイル、ビジネススタイルの転換

従来の「省エネ行動」を一步進め、地球環境にやさしい「ライフスタイル」「ビジネススタイル」への転換を図るため、「徳島夏・冬のエコスタイル」を通じた普及啓発の実施や、その取組みを支援。

【具体的取組み】

- ・ ライフスタイルの転換につながる「徳島夏・冬のエコスタイル」の実施
- ・ 事業者における省エネ活動の取組みの促進 など

(3) LEDを活用した省エネ推進

公共施設や道路、信号灯器等、多様な場面において省エネ効果の高いLED照明の導入を促進するとともに、家庭や事業所での積極的な利用を呼びかけ。

【具体的取組み】

- ・ LED化の計画的整備
- ・ LED関連企業の販路拡大等を支援

(4) 低炭素型のまちづくり

公共交通機関等を利用しやすい交通体系の整備や取組みの普及を図るとともに、建築物の省エネルギー化や緑化等による低炭素なまちづくりを推進。

【具体的取組み】

- ・ マイカー利用から公共交通機関利用への転換を促進
- ・ 歩行者や自転車が安全に通行できる歩道等の整備 など

(5) 地球温暖化への適応

気候変動の影響に関する情報収集を行うとともに、県民等に対し広く情報を発信。

【具体的取組み】

- ・ 県民等への普及啓発

重点分野②「自然エネルギーの導入促進」 (9取組項目・11目標)

(1) 戦略に基づく各種の施策展開

「自然エネルギー立県とくしま推進戦略」に基づき、太陽光、風力、水力等自然エネルギーの導入を促進するため、普及拡大施策や県民・事業者の意識醸成等の取組みを展開。

【具体的取組み】

- ・ 自然エネルギー対策を促進するための中小企業における設備導入の推進

(2) 自然エネルギーによる地域活性化

本県の持つ豊富な自然エネルギーを有効活用し、産業振興等の地域活性化を推進。

【具体的取組み】

- ・ 沿岸地域の豊富な自然エネルギーを有効活用し、「持続可能な漁港」を実現
- ・ 地域漁業との共存を目指し、漁業協調型の「洋上風力発電」の実証実験を実施 など

(3) 自然エネルギーを活用した災害に強いまちづくり

防災拠点等における自然エネルギー関連設備の着実な整備など、災害時に有効に活用しうる電力供給の取組みを推進。

【具体的取組み】

- ・ 次世代エコカー(EV,FCV,PHV等)の蓄(発)電機能等を非常用電源として活用
- ・ 災害時に必要な電力を自然エネルギーで確保

(4) 次世代エコカーの普及促進

電気自動車や燃料電池自動車など、地球環境にやさしい次世代エコカーの普及を促進。

【具体的取組み】

- ・ 電気自動車・燃料電池自動車の県内普及

(5) 水素をエネルギーとして活用する社会の早期実現

二酸化炭素を排出しない「水素エネルギー」の活用に向けた調査研究や、「水素ステーション」等インフラの普及施策など、本県における水素社会の早期実現に向けた取組みの推進。

【具体的取組み】

- ・ 水素グリッドの構築に向けた取組みの推進

重点分野③「豊かな森林づくりの推進」 (5取組項目・8目標)

(1) 条例に基づく県民総ぐるみでの森林づくり

ボランティアや企業・県民と協働した森づくり活動の推進や、森林の二酸化炭素吸収量を活かしたカーボン・オフセットの積極的な実施。

【具体的取組み】

- ・ 県民、企業と協働した森づくり活動の推進

(2) 森林吸収源対策の推進

造林や間伐等の森林整備による多様な森林づくりや公的機関による管理を推進し、地球温暖化対策としての二酸化炭素吸収量を増大。

【具体的取組み】

- ・ 「健全な森林」「豊かな森林」をつくるための森林整備
- ・ 公有林化戦略「徳島グリーンスタイル」の展開

(3) 木材及び木質バイオマスの利用推進

公共事業における県産材の率先利用等の消費拡大を図るとともに、二酸化炭素の排出を抑制する木質バイオマスの利用を推進。

【具体的取組み】

- ・ 県産材の県内消費の拡大
- ・ バイオマスの生産・利用を担う環境関連産業の創出と地域づくり

重点分野④「地球にやさしい環境行動の実践」 (4取組項目・6目標)

(1) 「環境首都とくしま・未来創造憲章」の普及

「環境首都とくしま・未来創造憲章」(以下「新憲章」という。)の県民・事業者・行政などあらゆる主体への普及や、これに基づく自発的な取組みを促進するための普及活動を実施。

【具体的取組み】

- ・ 自発的な環境活動促進のための広域的かつ先導的な実践活動の推進
- ・ 新憲章を普及するための人材育成の推進

(2) 若い世代への環境学習の実践

新憲章の「キッズバージョン」を小中学生の環境学習に活用する等、子どもたちから環境問題に対する関心を高め、積極的な環境活動を支援。

【具体的取組み】

- ・ 新憲章(キッズバージョン)を踏まえた環境学習の推進
- ・ 学校における新憲章に基づいた実践活動の推進